

バングラデシュの概要

株式会社 カイコム
Kaicom Co.Ltd

Kaicom



Anjan Das (ダス アンジャン)

【経歴】

2003年：バンガロール大学 コンピュータサインス学科 卒業
2005年：静岡大学 システム大学院工学研究科 入学
2008年：静岡大学 システム大学院工学研究科 卒業
2009年：沖電気工業 入社
2016年：沖電気工業 退社
2017年：Kaicom Solutions Japan 創業
2022年：CIP受賞

【現在】

Kaicom groupのFounder and CEO
日本 Bangladesh 協会 (JBS) 理事
日本 Bangladesh IT 協会 (JBITA) 代表理事
JETRO 中小企業海外展開現地支援プラットフォームコーディネーター

項目	内容
商号	株式会社 Kaicom (カイクム)
事業所	東京都大田区羽田1-1-3
代表者	代表取締役 ダス アンジャン
設立	平成29年(2017年) 5月15日
主な業種	システム・ソフト開発運用、各種コンサルティング業務、 日本語学習支援、翻訳&通訳、レンタル/シェア・オフィス運用
グループ企業	Kaicom Solutions Japan BD Co. Ltd. Musubu Japanese Language & Culture Centre Kaicom DREAM STREET BD Co., Ltd. (KDS)

項目	内容
商号	Kaicom DREAM STREET Co., Ltd. (略称：KDS) カイクムドリームストリート株式会社、RL：2738 (Kaicom社 X Watami Agent社(Watami Group)の合併会社)
事業所	Plot 1, ANZ Hoq Eleven Square 7th Floor, House No-1, Rd No. 11, Dhaka 1213
代表者	Managing Director Anik Sarkar (アニック サルカル)
設立	2023年1月
資本金	2000万円
主な業種	・技能実習生・特定技能対象者の出国前研修及び出国後の管理 ・技能実習生・特定技能対象者の出国手続き支援 など

ワタミグループとの合併会社(2023年 設立)



2023年4月設立当時立ち合い：

- ・在 Bangladesh の特命全権大使、JICA Bangladesh 所長
- ・JERTO Bangladesh 所長、・Bangladesh 海外居住者福利厚生

2025年5月：

- ・研修センターを Bangladesh に設 MOU (Model TTC)
- ・ユヌス首席顧問、ワタミ代表取締役会長 渡邊美樹

◆ バングラデシュの概要

- バングラデシュとは
- 日本との関係

バングラデシュとは（位置）



出所：Google map

バングラディッシュ国旗



南アジアに位置し、
北と東西をインド、
南東部はミャンマーと国境構成。
南はインド洋に面している。

日本との距離：5000km弱
日本との時差：3時間遅れ

バングラデシュとは（面積、人口など）

- **正式名称:** バングラデシュ人民共和国
(People's Republic of Bangladesh)
- **首都:** ダッカ (Dhaka)
- **人口:** 約1億7,000万人（2023年時点）
 - 世界で8番目に人口が多い国。
 - 人口密度は非常に高く（世界で6番目）、世界有数の過密地域。
- **面積:** 約147,570平方キロメートル
 - 日本の約40%の広さ。北海道の約1.7倍



Source:世界銀行、バングラデシュ統計局、外務省

Bangladesh とは（歴史・宗教）

・歴史：

- ・ 1947 年パキスタンの一部（東パキスタン）として独立
- ・ **1971年12月16日** **Bangladesh**として独立
- ・ 1972年2月10日 日本側、Bangladesh を承認

・宗教：

- ・ **イスラム教（約90%）**
ヒンドゥー教、仏教、キリスト教も少数存在。
※クリスマスは国の祝日。他の宗教にも寛容。



Source:世界銀行、Bangladesh 統計局、外務省

バングラデシュとは（気候、通貨、公用語など）

•気候/ 季節:

- 暑:4月~5月、雨:6月~10月、乾:11月~3月
- 気温:最低:13度、最高:34度、
平均:25~28度（日本に比べて暑いです）

•公用語: ベンガル語（Bangla）

- 英語も教育やビジネスで広く使用される。

•通貨: タカ（Taka, BDT） ※1 BDT=約1.3 円

•主要都市:

- ダッカ（首都で政治・経済の中心地）
- チッタゴン（商業港湾都市）



Source:バングラデシュ統計局

・教育:

- ・義務教育は小学校5年のみである
- ・初等教育の普及率は高い
(識字率は2022年時点で77.9%)

幼児学級、幼稚園	
義務教育	初等学校 (小学校)
	1年生 (6~7歳)
	2年生 (7~8歳)
	3年生 (8~9歳)
	4年生 (9~10歳)
	5年生 (10~11歳)
前期中等学校(6~8年生)	
中期中等学校(9~10年生)	
後期中等学校(11~12年生)	
大学、カレッジ等	

Bangladesh教育チャート

・食文化:

米とカレーを中心とした料理が一般的。魚介類も重要な食材

Source:世界銀行、JICA、 Bangladesh統計局、外務省

バングラデシュとは（政治）

- 伝統的に二大政党（アワミ連盟（A L）、バングラデシュ民族主義党（B N P）が対峙。
- 政治体制…議院内閣制（総議席数350（女性枠50）一院制、任期5年）
- 2024年1月総選挙、ハシナ政権5期目発足（24年1月～）
- **2024年8月、政変に伴い暫定政権樹立。→首席顧問:モハマド・ユヌス**
- **次期総選挙を2026年4月上旬**（ユヌス首席顧問は6月6日、国民に向けて演説）

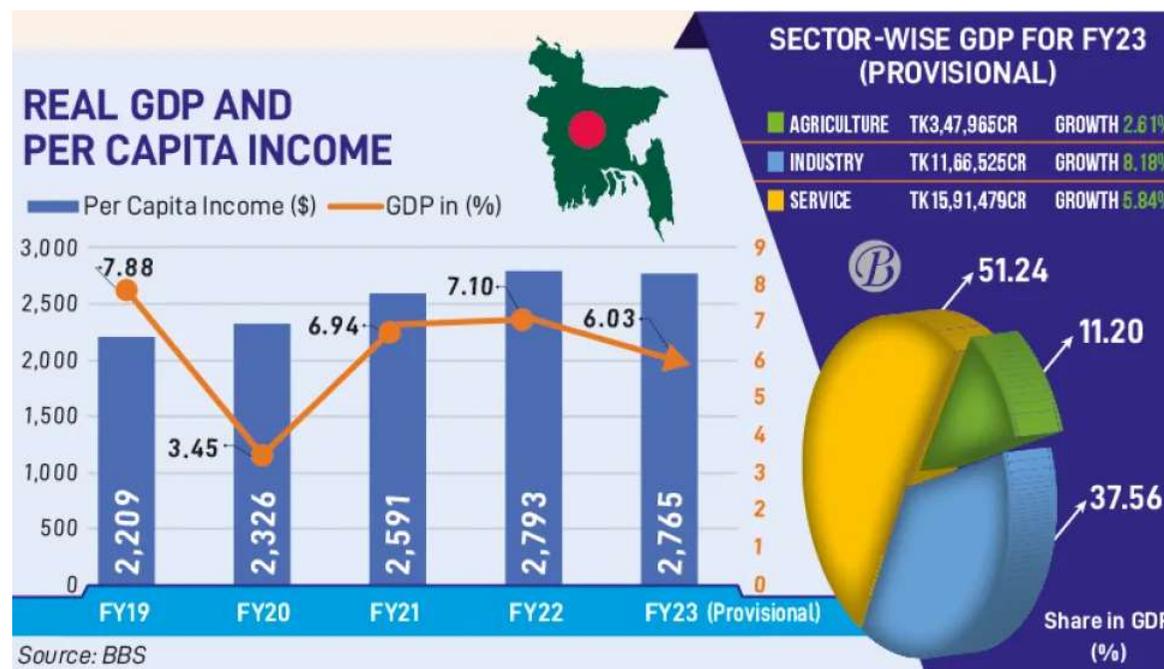


首席顧問:モハマド・ユヌス

Source:世界銀行、バングラデシュ統計局、外務省、NHK、JETRO

Bangladesh とは (経済, GDP)

- 安定成長を継続する新興国
 - GDP: 3,055億米ドル (2022年)
 - 一人あたりGDP: 2,793ドル (2022年)
 - GDP成長率:
 - (2022年度: 7.10%)
 - (2021年度: 6.94%)
- GDP内訳 (2022年度、BBS)
 - サービス業 (51.24%)
 - 工業/製造業 (37.56%)
 - 農林水産業 (11.20%)



Source: BBS, 外務省

バングラデシュとは（経済、輸出／輸入）

- ・輸出が前年度比34.4%増の520億8,266万ドル、輸入は45.1%増の789億5,000万ドル
- ・主要品目が伸長し、とりわけ**衣料品**（35.5%増）
- ・輸入品の**鉱物性燃料・同製品**が2.1倍の128億ドルに達した。
- ・衣料品などの生産の中間財である**綿・同製品**（59.0%増）

(単位：100万ドル、%) (△はマイナス値)

品目	2020/21年度		2021/22年度	
	金額	金額	構成比	伸び率
衣料品	31,457	42,613	81.8	35.5
ニット	16,960	23,214	44.6	36.9
布帛	14,497	19,399	37.2	33.8
皮革および同製品	942	1,245	2.4	32.2
農産品	1,025	1,160	2.2	13.2
ジュートおよび同製品	1,057	911	1.7	△13.8
魚介類	477	533	1.0	11.7
合計（その他含む）	38,758	52,082	100.0	34.4

バングラデシュの主要品目別輸出(FOB)

(単位：100万ドル、%)

品目	2020/21年度		2021/22年度	
	金額	金額	構成比	伸び率
鉱物性燃料・同製品	6,100	12,767	16.2	109.3
綿・同製品	6,327	10,059	12.7	59.0
機械・同部品	4,504	7,035	8.9	56.2
鉄鋼製品	2,763	4,272	5.4	54.6
プラスチック・同製品	2,642	3,281	4.2	24.2
穀物	2,399	3,183	4.0	32.7
電気機器・同部品	2,472	2,891	3.7	16.9
合計（その他含む）	54,403	78,950	100.0	45.1

バングラデシュの主要品目別輸入[通関ベース]

Source:JETRO

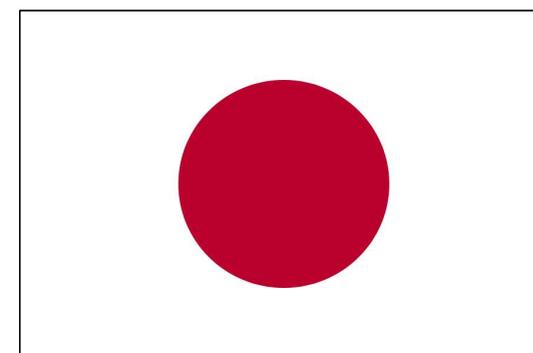
- Bangladesh国内のインフラ不足や環境問題
- 政治的安定性や汚職対策の強化
- 海外からの投資混乱

◆ バングラデシュの概要

- バングラデシュとは
- 日本との関係



バングラディシュ国旗

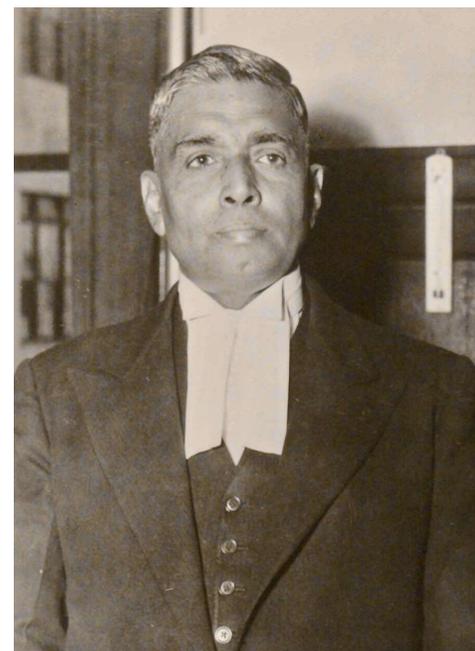


日本国旗

日本との関係

日本はベンガル人と昔からつながりがありました。

- 1946年5月：極東国際軍事裁判
（東京裁判）で被告人全員の無罪を主張した
「意見書」（通称「パール判決書」）
パール裁判官は Bangladesh の Kustia 県出身。



ラダ・ビノード・パール法学者、裁判官



（Bangladesh Kustia 出身）

Source:wikipedia

日本との関係（外交、経済協力）

・日本は1972年2月10日、 **Bangladesh独立後に国家承認**を行い、正式に外交関係を樹立しました。

これ以来、両国は友好関係を深めています。

- ・1972年3月3日　Bangladesh、東京に大使館開設
- ・1972年7月1日　日本側、Daccaに大使館開設

・日本はBangladeshにとって「**最大の援助国**」の一つであり、日本の支援は同国の経済発展に大きく貢献しています。

・経済協力ODA（政府開発援助）

- ・インフラ整備：交通網、電力供給施設、港湾など。
- ・教育と医療：学校建設や医療インフラ支援。
- ・防災・環境：自然災害対策や気候変動対応プロジェクト。

日本の2021年度の援助実績 （単位 億円）

- (1) 有償資金協力：3,105.64
- (2) 無償資金協力：39.63
- (3) 技術協力：41.43



第3ターミナル



MRT

Source:外務省

日本との関係（日企業進出、輸入出、進出）

- ・日本企業の進出：
 - ・多くの日本企業がバングラデシュに進出し、製造業、インフラ、IT分野、若い労働力、高い経済成長率、低コストの生産環境が日本企業を引きつけています。

- ・バングラデシュから日本への輸出：
 - ・アパレル製品（衣料品が全輸出の9割を占める）、冷凍魚、皮革製品など。

- ・日本からバングラデシュへの輸出：
 - ・自動車、機械、電化製品など。

進出日系企業数は過去10年で約3倍増



Source: JETRO、外務省

日本との関係（姉妹都市提携・政府の研修センターを実現）

- ・鳴門市・ナラヤングンジ市と友好都市提携（文化、経済、教育、人材）交流を深める
- ・MUSUBU日本語学校のナラヤングンジ校はこの提携の一環で当時の市長の要請で開校した校舎
- ・Watami グループはバングラデシュの政府 Monohardhi 研修センターは日本向けModel TTC構築



両国間の人的交流が活発化しています

- ・「包括的パートナーシップ」から、「**戦略的パートナーシップ**」への格上げが表明された。
(2026年にはLDC卒業⇒日バFTA・EPAの議論へ)
- ・両国の経済関係はますます強化される見込み。**特にインフラ整備や貿易拡大の分野での協力が期待されています。**
- ・B2B：財閥企業を中心としたバングラ有力企業との連携可能性：
 - ・「資本はあるが技術がない」企業との連携（製品販売、技術支援などから）
- ・B2C：約2億人市場へのアプローチ（内需志向型）
消費財から二輪産業（裾野産業含む）、自動車

- 人材の活用：
 - 技能実習生・特定技能
(ユヌス先生、渡邊美樹会長のコミット、鳴門市・ナラヤンゴンジ市、その他)
 - 高度IT人材の存在 (B-JET、BMEET, TOP SEプログラム)
 - 留学



2025年5月29日 東京人材セミナーユヌス首席顧問、ワタミ代表取締役会長 渡邊美樹

- ・ Bangladesh は1億7千万人の国で2055年まで人口ボーナス期
- ・ Bangladesh は日本の課題を解決できるパートナーの一つであり
- ・ 日本は Bangladesh にとって「最大の援助国」の一つ。
日本の支援は同国の経済発展（**インフラ整備や貿易拡大**）に大きく貢献している
- ・ Bangladesh は安定成長を持続する新興国だが、日本のサポート欠かせない
今後、「**戦略的パートナーシップ**」として、さらなる両国の**協力が期待されている**

Source:外務省

ご清聴ありがとうございました

Thank you very much